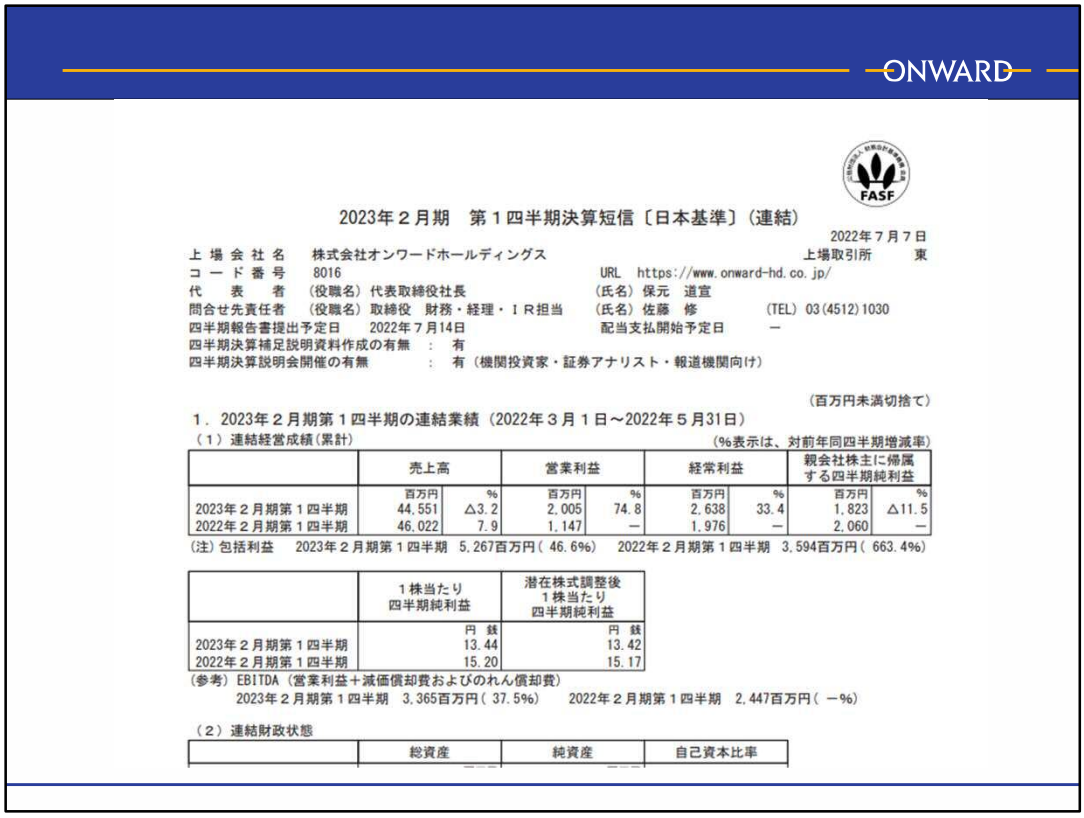
株式会社オンワードホールディングスの財務・経理・IR担当の佐藤です。

常日ごろ、当社の事業に関しまして大変お世話になっております。

この場をお借りいたしまして、心より御礼を申し上げます。

本日は、当社グループの第1四半期決算内容につきまして、決算短信と補足説明資料を用いてご説明をさせていただきます。

まず、第1四半期決算短信の表紙をご覧ください。



2023年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年７月７日

上場会社名　株式会社オンワードホールディングス　上場取引所　東
コード番号　8016　URL　https://www.onward-hd.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）保元　道宣
問合せ先責任者　（役職名）取締役　財務・経理・ＩＲ担当　（氏名）佐藤　修　（TEL）03(4512)1030
四半期報告書提出予定日　2022年７月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

１．2023年２月期第１四半期の連結業績（2022年３月１日～2022年５月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年２月期第１四半期	44,551	△3.2	2,005	74.8	2,638	33.4	1,823	△11.5
2022年２月期第１四半期	46,022	7.9	1,147	－	1,976	－	2,060	－

（注）包括利益　2023年２月期第１四半期　5,267百万円（46.6%）　2022年２月期第１四半期　3,594百万円（663.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年２月期第１四半期	13.44	13.42
2022年２月期第１四半期	15.20	15.17

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費およびのれん償却費）
2023年２月期第１四半期　3,365百万円（37.5%）　2022年２月期第１四半期　2,447百万円（－%）

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率

売上高は、445億５千１百万円、前年同期比3.2%のマイナス。主として昨年売却したイタリア事業の影響により減収となりました。

営業利益は20億５百万円、前年同期比74.8%の増益。経常利益は26億３千８百万円、前年同期比33.4%の増益。当期純利益は、18億２千３百万円、前年同期に固定資産売却益が大きかったことがあり、11.5%減少しました。

続きまして、補足説明資料の３ページをご覧ください。

目次

ONWARD

2023年2月期1Q実績	2
・ハイライト	3
・連結合計	4
・事業セグメント別	5
・事業会社別	6
2023年2月期上期予想	8
・連結合計	9
TOPICS	10
財務状況	15
DATA BOOK	17

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

2023年2月期1Q実績

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

1Q実績 ハイライト

ONWARD

市況の回復とOMO施策の成果により、国内事業が牽引して大幅に増収増益

売却したイタリア事業、グアムホテル事業とオンワード樫山廃止店舗の影響を除くと
売上高は＋58億円(＋15%)、営業利益は＋13億円(＋175%)

■コロナ禍対応の行動制限の緩和とともに、国内事業の売上高がアパレル・ライフスタイルともに伸長

特に中核事業会社のオンワード樫山が、クリック＆トライサービスを導入したOMO型店舗が牽引する形で、廃止店を除く既存店ベースで＋48億円(＋22%)、全店ベースでも＋34億円(＋15%)と大幅増収。

■営業利益は+9億円(＋75%)、売却・廃止事業の影響を除くと+13億円(＋175%)の大幅増益

値引販売の抑制や在庫一元管理の徹底等により売上総利益率が51.7%(前期1Q)から55.5%に+3.8ポイント改善。

■上期・通期の業績予想は据え置き

新型コロナウイルス感染者数の推移や為替相場、原材料価格の動向など、経営環境に不確実な要素が多いため、2022年4月7日に公表した業績予想を据え置く。

※売却・廃止事業の内訳
売却したイタリア事業とグアムホテル事業、オンワード樫山の廃止店舗の前期1Q実績
売上高72億円　売上総利益32億円　営業利益4億円

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

こちらに、第１四半期決算のハイライトを記載しております。

この第１四半期については、市況の回復とOMO施策の成果などで国内事業が回復し、連結全体として、実態ベースでは大幅増収増益となりました。

ポイントは3つ。

１つ目。コロナ禍の行動制限の緩和によって、国内事業のアパレル事業とライフスタイル事業の売上高がともに大幅に伸長。特に中核事業会社のオンワード樫山では、廃止店舗を除く既存店ベースで前年同期比22%、金額にして48億円の増、全店ベースでも前年同期比15%、金額にして34億円の増と、増収に大きく貢献しました。

2つ目は、営業利益が、前年比75%、金額にして9億円増加しました。売却・廃止事業の影響を除く実態ベースでは前年同期比175%、金額にして13億円の増加です。

　なお、売却・廃止事業は、イタリア事業・グアムホテル事業、樫山の廃止店舗分で、前年度は一過性の理由で第１四半期に合計で4億円の営業利益が出ていましたが、通期では赤字の事業でした。

3つ目。上期・通期の業績予想については、新型コロナウイルス感染者数の推移や為替相場、原材料価格の動向など不確実な要素が多いため、本年４月７日に公表した業績予想を据え置かせていただきます。

続きまして、4ページをご覧ください。

1Q実績　連結合計

ONWARD

1Qの売上高は15億円の減収(▲3%)、営業利益は9億円(+75%)増加し20億円を確保
売却・廃止事業の影響を除くと売上高は58億円の増収(+15%)、営業利益は13億円の増益(+175%)

(百万円)

		1Q実績				売却・廃止事業を除く前年同期対比			売却・廃止事業の影響額
		23.2期	22.2期	増減	前年同期比	22.2期	増減	前年同期比	
1	売上高	44,551	46,022	▲ 1,471	96.8%	38,787	+5,764	114.9%	7,235
2	売上総利益	24,718	23,780	+938	103.9%	20,571	+4,147	120.2%	3,209
	(売上比)	55.5%	51.7%	+3.8%		53.0%	+2.5%		44.4%
3	販管費	22,713	22,632	+81	100.4%	19,843	+2,870	114.5%	2,789
	(売上比)	51.0%	49.2%	+1.8%		51.2%	▲ 0.2%		38.5%
4	**営業利益**	**2,005**	**1,147**	**+858**	**174.8%**	**728**	**+1,277**	**275.4%**	**420**
	(売上比)	4.5%	2.5%	+2.0%		1.9%	+2.6%		5.8%
5	**経常利益**	**2,638**	**1,976**	**+662**	**133.4%**	**1,357**	**+1,281**	**194.4%**	**619**
6	**当期純利益**	**1,823**	**2,060**	**▲ 237**	**88.5%**	**1,803**	**+20**	**101.1%**	**257**
7	EBITDA※	3,365	2,447	+918	137.5%	2,028	+1,337	165.9%	420

※EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

左側オレンジで囲った部分が第１四半期の連結実績。右側オレンジで囲った部分は売却したイタリア事業・グアムホテル事業、オンワード樫山の廃止店舗の影響を除いて比較した増減です。

左に記した項目番号１、売上高は、イタリアの事業撤退ならびにグアムの売却影響が大きく、前年比3.2%の減、金額にして15億円の減収となりましたが、売却した事業や廃止事業・店舗の影響を除くと14.9%の増、金額で58億円の増収となります。

コロナ禍の行動制限の緩和により、アパレル・ライフスタイルそれぞれのリアル販路が回復すると同時に、店舗のOMO化の効果も表れました。

項目番号２、売上総利益は前年同期比3.9%増の247億１千８百万円、売上総利益率が前年同期の51.7%から3.8ポイント改善し、55.5%に上昇。

改善の要因は、オンワード樫山でプロパー売上高が大幅に増加したこと、継続的な値引き販売の抑制と在庫一元管理に伴う効率化を実現できたこと、に加え、利益率の低いイタリア事業を売却したことによるものです。

項目番号３、販管費は対前年同期微増の227億１千３百万円。右側、売却・廃止店舗の影響を除いた比較では、29億円の増加となりますが、売上高の増加に伴うもので適切に経費コントロールいたしました。

結果、項目番号４番、営業利益は前年同期比74.8%増の20億５百万円となりました。

項目番号４番、営業利益と項目番号５番、経常利益の間の営業外損益において、当第１四半期は為替差益等の増加により、経常利益は営業利益から６億増加し、26億3千8百万円と、前年同期比33.4%増となりました。

項目番号６番、当期純利益については、項目番号５番の経常利益から８億減少しておりますが、特別利益でグアムリゾート売却に伴う売却益、プラス12億円、特別損失で固定資産の減損損失、マイナス５億円、これに法人税等を加えまして、当期純利益については18億２千３百万円となりました。

項目番号７番、EBITDAは、前年同期比37.5%増の33億６千５百万円となりました。

続きまして、５ページをご覧ください。

1Q実績　事業セグメント別

ONWARD

1Qは、国内事業がアパレル事業、ライフスタイル事業ともに増収増益
売上高+33億円(+8%）営業利益+16億円(+129%)

（百万円）

				1Q実績				
				23.2期	22.2期	増減	前年同期比	
1	国内	アパレル	売上高	33,443	30,927	+2,516	108.1%	国内アパレル（オンワード樫山　オンワード商事
2			営業利益	2,137	705	+1,432	303.1%	アイランド　オンワードパーソナルスタイル　他10社　計14社）
3		ライフスタイル	売上高	9,808	8,979	+829	109.2%	国内ライフスタイル（チャコット　クリエイティブヨーコ　大和
4			営業利益	744	552	+192	134.8%	KASHIYAMA DAIKANYAMA　他6社　計10社）
5		計	売上高	43,251	39,906	+3,345	108.4%	
6			営業利益	2,881	1,257	+1,624	229.2%	
7	海外	アパレル	売上高	3,235	8,297	▲ 5,062	39.0%	海外アパレル（JOSEPHグループ8社　J.PRESS
8			営業利益	▲ 546	260	▲ 806	-	恩瓦徳時尚貿易　他8社　計18社）
9		ライフスタイル	売上高	497	346	+151	143.6%	海外ライフスタイル（フリードオブロンドン　他6社　計7社）
10			営業利益	▲ 67	▲ 247	+180	-	
11		計	売上高	3,732	8,643	▲ 4,911	43.2%	
12			営業利益	▲ 613	13	▲ 626	-	
13	連結合計		売上高	**44,551**	**46,022**	**▲ 1,471**	**96.8%**	
14			営業利益	**2,005**	**1,147**	**+858**	**174.8%**	

※セグメントの内訳は各社の単純合算　連結合計には相殺消去含む
※会計期間はヨーロッパ12月~2月　アジア・アメリカ1月~3月

※海外事業は、イタリア事業、グアムホテル事業の売却、コロナ禍に伴うアジア事業の不振やウクライナ情勢の影響等により49億円の大幅な減収となった。その結果、海外事業の営業損益は▲6億円となった。

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

こちらには連結合計の数値を、事業セグメント別に分解した資料を掲載しております。

オレンジで囲った部分になりますが、国内事業がアパレル事業、ライフスタイル事業ともに増収増益となり、国内事業合計の売上高は前年同期比8.4%、金額にして33億円増加。営業利益は前年同期比129.2%、金額にして16億円増加となりました。

次に、6ページをご覧ください。

1Q実績　事業会社別

ONWARD

オンワード樫山が大幅な増収増益

（百万円）

			1Q実績					
			売上高			営業利益		
			23.2期	22.2期	増減	23.2期	22.2期	増減
1	国内	**オンワード樫山+HD**	**26,135**	**22,704**	**+3,431**	**1,752**	**197**	**+1,555**
2	国内	オンワード商事	3,822	4,568	▲ 746	461	875	▲ 414
3	国内	アイランド	1,465	1,344	+121	40	▲ 70	+110
4	国内	チャコット	2,302	2,148	+154	133	59	+74
5	国内	クリエイティブヨーコ	1,265	1,090	+175	70	48	+22
6	国内	大和	5,153	4,714	+439	301	292	+9
7	国内	その他	3,109	3,338	▲ 229	124	▲ 144	+268
8	国内	**国内グループ 小計**（オンワード樫山+HD除く）	**17,116**	**17,202**	**▲ 86**	**1,129**	**1,060**	**+69**
9	海外	ヨーロッパ計	2,318	7,301	▲ 4,983	▲ 280	286	▲ 566
10	海外	アメリカ計	222	125	+97	▲ 117	▲ 132	+15
11	海外	アジア計	1,128	1,146	▲ 18	▲ 139	50	▲ 189
12	海外	グアムリゾート計	64	71	▲ 7	▲ 77	▲ 191	+114
13		**海外グループ 小計**	**3,732**	**8,643**	**▲ 4,911**	**▲ 613**	**13**	**▲ 626**
14		**連 結 合 計**	**44,551**	**46,022**	**▲ 1,471**	**2,005**	**1,147**	**+858**

※グループの内訳は単純合算　連結合計には相殺消去含む

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

こちらでは、事業会社別の売上・営業利益の実績についてご説明させて頂きます。

ポイントは、項目番号1、樫山＋HDの大幅な増収増益です。

項目番号1番、オンワード樫山については売上高、前年同期比15%増の261億円、コロナによって制限を受けていた集客の回復と「クリック＆トライ」の導入拡大により、リアル店舗は前年同期比21%の増収。これに加えて、販売施策における値引き販売の抑制等による粗利益率の改善により、営業利益は前年同期に対して16億円増となりました。オンワード樫山の大幅な増収増益が連結全体の増益に貢献しています。

オンワード樫山以外の国内グループ会社は、全体としては概ね堅調。

項目番号9番。ヨーロッパ計では、撤退したイタリア事業の前年実績により、売上高は、前年同期から約50億円の減収。

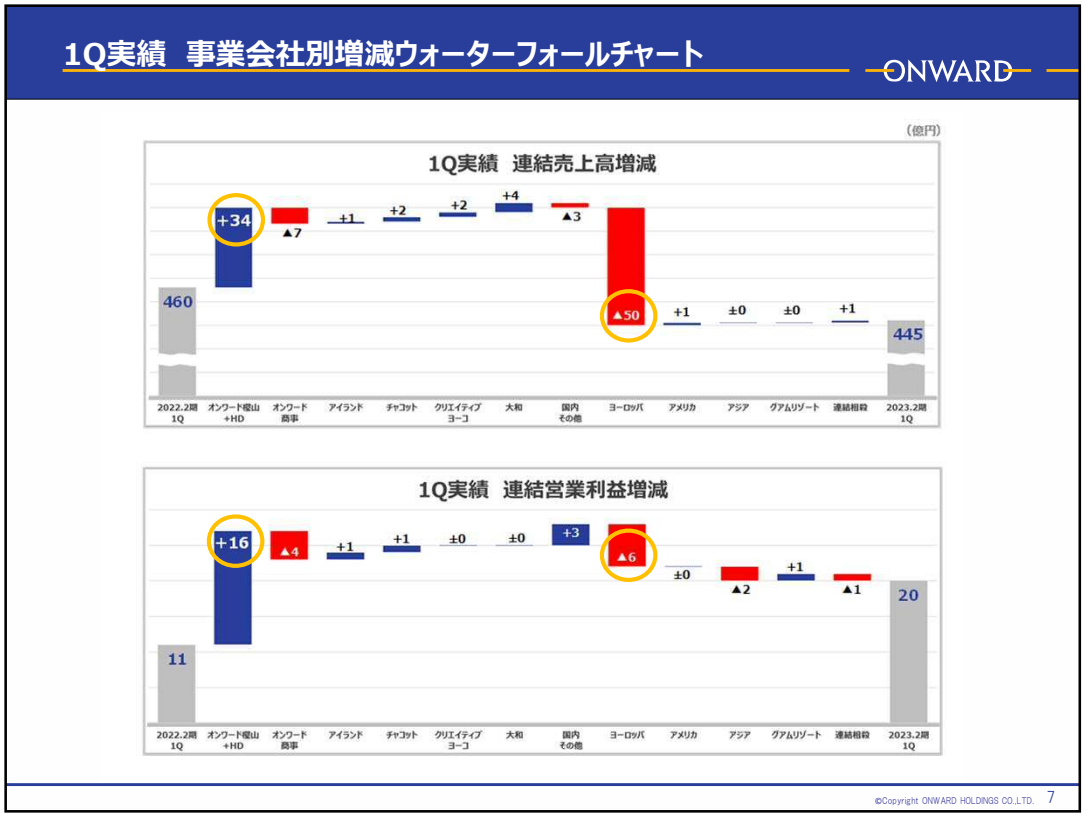
項目番号10番。アメリカ計は、JプレスのEC売上拡大等により売上高は前年同期から微増、営業損益の赤字幅は若干ながら縮小しております。高い家賃の店舗の解約交渉に臨んでおり、2024年度の黒字化を見込んでおります。

項目番号11番、アジア計は、大連などの生産会社については増収となったものの、香港などの販売会社はコロナ影響もあり苦戦、減収減益となりましたが、コロナ禍が改善方向に向かえば黒字に転じる見込みです。

項目番号12番。グアムリゾート計は、今年3月にコロナ禍で厳しい経営環境にあったホテル事業を星野リゾートへ売却したことにより赤字幅を縮小しております。

この結果、項目番号13番。海外グループ全体としては、イタリア事業の売却に加え、コロナ影響やロシア・ウクライナの問題の影響を受けた決算となり、売上高は49億円の減収、営業損益は6億円の赤字となりました。

続きまして7ページをご覧ください。



ここまでグループ各社の実績についてご説明させて頂きましたが、第１四半期の売上高と営業利益の前年同期対比について、ウォーターフォールチャートで整理しております。

売上高・営業利益で共通して大きい変動要因が、オンワード樫山の増収増益とヨーロッパ・イタリアの事業撤退に伴う減収減益だと見てとれると思います。

売上高の増減については、オンワード樫山の34億円の増収に対し、イタリアの50億円の減収の方が大きく、連結全体では減収となっている一方で、営業利益ではオンワード樫山の16億円の利益改善が、イタリアの減益影響6億円を上回り増益となっております。

次に9ページをご覧ください。

2023年2月期上期予想

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

上期予想　連結合計

ONWARD

新型コロナウイルス感染者数の推移や為替相場、原材料価格の動向など、経営環境に不確実な要素が多いため、2022年4月7日に公表した業績予想を据え置く。

(百万円)

		1Q実績				上期予想（2022.4.7公表値）			
		23.2期	22.2期	増減	前年同期比	23.2期	22.2期	増減	前年同期比
1	売上高	44,551	46,022	▲ 1,471	96.8%	77,000	80,785	▲ 3,785	95.3%
2	売上総利益	24,718	23,780	+938	103.9%	40,500	41,018	▲ 518	98.7%
	（売上比）	55.5%	51.7%	+3.8%		52.6%	50.8%	+1.8%	
3	販管費	22,713	22,632	+81	100.4%	42,300	44,312	▲ 2,012	95.5%
	（売上比）	51.0%	49.2%	+1.8%		54.9%	54.9%	±0.0%	
4	**営業利益**	**2,005**	**1,147**	**+858**	**174.8%**	**▲ 1,800**	**▲ 3,294**	**+1,494**	**-**
	（売上比）	4.5%	2.5%	+2.0%		-	-		
5	**経常利益**	**2,638**	**1,976**	**+662**	**133.5%**	**▲ 1,750**	**▲ 2,862**	**+1,112**	**-**
6	**当期純利益**	**1,823**	**2,060**	**▲ 237**	**88.5%**	**▲ 1,250**	**7,448**	**▲ 8,698**	**-**
7	EBITDA※	3,365	2,447	+918	137.5%	650	▲ 687	+1,337	-

※EBITDA（営業利益＋減価償却費およびのれん償却費）

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

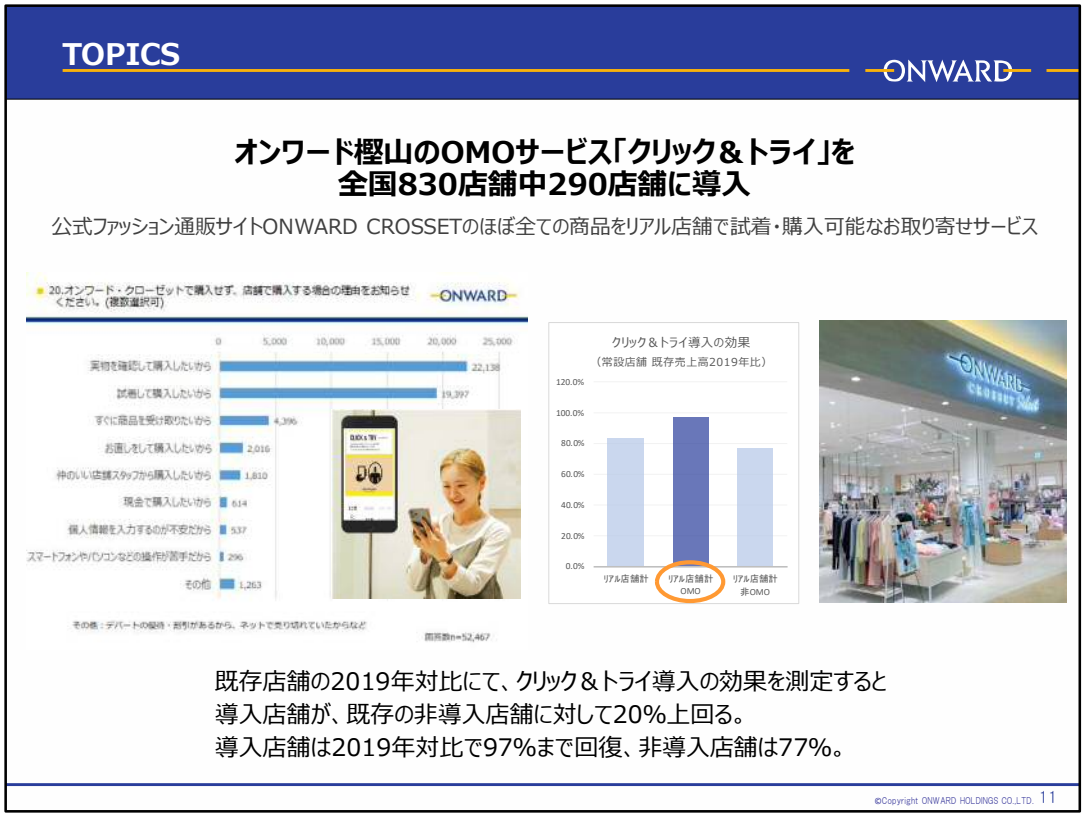
右の欄が上期の業績予想数値となります。通期の業績予想は、売上高1,687億円、営業利益は21億円、経常利益は20億5千万円、当期純利益は17億円となります。業績予想値については本年４月７日に発表したものです。

先程ご説明いたしました通り、第１四半期の営業利益は、通期予想の21億円に対し、20億円という進捗状況ですが、新型コロナウイルス感染者の推移や為替相場、原材料価格の動向など、経営環境に不確実な要素が多いため、４月７日に公表した業績予想を据え置かせて頂きます。

10ページ以降はトピックスを記載しております。

TOPICS

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.



11ページは、オンワード樫山のOMOサービス「クリック＆トライ」の導入状況について。
オンワード樫山の店舗の約3分の1でOMOサービスを提供しており、オンワード樫山の改善に貢献しています。

12ページは、オンワード樫山で昨年秋にスタートした新ブランド「アンフィーロ」について。
ページ左のジョグパンがヒットするなど大幅に伸長しています。

TOPICS

ONWARD

ブランドフィロソフィーを体現する旗艦店「Chacott代官山」を3月12日にOPEN
5月末までの来館者3万人超、旧渋谷本店との同日数対比で売上高7%増

Chacott

■バレエ事業を堅持しながらウェルネス領域を提案する、チャコット・バランスとチャコット・コスメティクスの展開を強化。
■カフェ、レストランも運営し、生活シーン全般に向けてブランドフィロソフィーをトータルに発信。
■建物自体がアート作品である館内で、五感に刺激を与えるような、リアル店舗ならではの体験をご提供。

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

13ページは、今年３月にオープンしたチャコットの旗艦店「Chacott代官山」。
５月末までの来館者が3万人を超すなど好調です。

14ページは、大和が４月に開始した新事業「dōzo - Have fun with ギフト.」について。
業績好調な大和が更なる拡大を目指します。

続きまして、財務状況についてご説明させて頂きます。
16ページをご覧ください。

財務状況

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

財務状況

ONWARD

■連結貸借対照表

（億円）

		23.2期1Q	22.2期末	増減
1	流動資産	666	605	61
2	現金・預金	220	152	68
3	売掛金	142	142	0
4	棚卸資産	257	268	▲ 11
5	固定資産	953	972	▲ 19
6	有形固定資産	555	580	▲ 25
7	無形固定資産	87	93	▲ 6
8	投資その他の資産	309	298	11
9	総資産	1,619	1,577	42
10	負債	813	804	9
11	買掛金	169	182	▲ 13
12	借入金	381	351	30
13	純資産	806	772	34

■連結キャッシュ・フロー計算書

（百万円）

		23.2期1Q	22.2期1Q	増減
14	営業キャッシュ・フロー	1,188	2,188	▲ 1,000
15	投資キャッシュ・フロー	5,123	▲ 1,662	+6,785
16	財務キャッシュ・フロー	294	▲ 3,707	+4,001
17	現金同等物残高	22,001	18,590	+3,411

■設備投資の状況

（百万円）

		23.2期1Q	22.2期1Q	21.2期1Q
18	設備投資	1,355	1,311	1,546
19	減価償却	1,167	1,207	1,406

■指標推移

		23.2期1Q	22.2期末	21.2期末	20.2期末
20	自己資本比率	43.4%	42.4%	28.9%	38.3%
21	流動比率	115.6%	108.5%	80.8%	98.2%

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

まず、連結貸借対照表ですが、

項目番号９番、第１四半期末における総資産は、1,619億円と、前期末比で42億円増加しました。

項目番号２番、現預金は、営業キャッシュフローの収入、グアム売却等による投資キャッシュフローの収入により、68億円増の220億円。

項目番号４番、棚卸資産は、樫山の店舗撤退・仕入の抑制等の影響により、11億円減の257億円。

結果として、項目番号１番、流動資産については61億円増の666億円となりました。

項目番号６番、有形固定資産は、グアムの連結離脱、減価償却・減損損失計上による減少等により、25億円減の555億円。

結果項目番号５番、固定資産は19億円減の953億円となりました。

項目番号10番、負債は９億円増の813億円となりました。

項目番号11番、買掛金はオンワード樫山の仕入抑制に伴い、13億円減の169億円。

項目番号12番、借入金はグループ各社における第２四半期の賞与・税金支払等に備えた資金需要に加え、為替の影響もあり30億円増の381億円となりました。

項目番号13番、純資産は前期末より34億円増加し、806億円となりました。

結果として、項目番号20番、自己資本比率については、前年度末の42.4%より1ポイント上昇の43.4%となっており、適正水準を維持しています。

項目番号21番、流動比率も同様に安全性の目安である100%以上を維持しています。

続いて、連結キャッシュフロー計算書についてご説明させていただきます。

番号は戻りまして、項目番号14番、営業キャッシュフローは、税引き前利益、棚卸資産の効率化、納税等の影響により、11億８千８百万円の収入。

項目番号15番、投資キャッシュフローは、51億２千３百万円。グアムのホテル事業の売却による収入によって大幅にプラス。

項目番号16番、財務キャッシュフローは、配当金の支払いがある一方、借入金の増加により、２億９千４百万円の収入となりました。

項目番号18番、設備投資は13億５千５百万円で、主な内訳は北米Jプレスのニューヘブンビルの取得、チャコット代官山の改修工事等によるものです。

項目番号19番、減価償却費については、11億６千７百万円となりました。

以上、2023年２月期第１四半期末の財務状況をご説明いたしました。

最後に、18ページをご覧ください。

DATA BOOK

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

DATA BOOK 販路別

ONWARD

販路別売上高　1Q実績

海外を含む連結合計のEC売上高は115億円（前年同期比4%増）となった。
EC化率は28.6%、自社EC比率は86.4%となった。

（百万円）

		百貨店	SCその他	リアル販路計	自社EC	他社ECモール	EC計	売上高計	EC化率	自社EC比率
1	**オンワード樫山**	**10,923**	**8,352**	**19,275**	**5,980**	**880**	**6,860**	**26,135**	**26.2%**	**87.2%**
2	売上構成比	41.8%	32.0%	73.8%	22.9%	3.4%	26.2%	100.0%		
3	前年同期比	121.7%	120.7%	121.3%	96.9%	137.5%	100.7%	115.1%	**-3.8%**	**-3.4%**
4	国内EC対象事業会社8社※	2,566	5,469	8,035	3,457	603	4,060	12,095	33.6%	85.1%
5	**国内EC対象事業会社計**	**13,489**	**13,821**	**27,310**	**9,437**	**1,483**	**10,920**	**38,230**	**28.6%**	**86.4%**
6	売上構成比	35.3%	36.2%	71.4%	24.7%	3.9%	28.6%	100.0%		
7	前年同期比	119.2%	114.5%	116.8%	104.0%	123.5%	106.2%	113.6%	**-2.0%**	**-1.9%**

※ Eコマースを運営している国内事業会社
（アイランド　ティアクラッセ　オンワードパーソナルスタイル　チャコット　クリエイティブヨーコ　大和　インティメイツ　KOKOBUY）

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

販路別売上高の実績になります。

オレンジの枠で示しておりますが第１四半期の国内EC対象事業会社のEC化率は28.6%、自社EC比率については86.4%となりました。

19ページ以降はデータブックとなっております。ご参照ください。

以上で、第１四半期決算説明を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

DATA BOOK 販管費・営業外損益・特別損益

ONWARD

（百万円）

	販管費	23.2期1Q	22.2期1Q	増減	前年同期比	
1	人件費	8,448	8,905	▲ 457	94.9%	
2	賃借料	6,474	5,987	+487	108.1%	・増収に伴う歩率家賃の増加
3	運賃運搬費	1,561	1,602	▲ 41	97.4%	
4	広告宣伝費	927	1,501	▲ 574	61.8%	
5	減価償却費	982	902	+80	108.9%	・店舗への投資による増加
6	その他	4,321	3,735	+586	115.7%	・市場の回復に伴い催事関連費用が増加 増収に伴うクレジット手数料、販売手数料の増加
7	販管費計	22,713	22,632	+81	100.4%	
8	特別損失振替額	-	779	▲ 779	-	コロナ禍の休業中において発生した固定費779百万円を販管費から特別損失に振替えた
9	(参考)実質販管費	22,713	23,411	▲ 698	97.0%	

（百万円）

	営業外損益	23.2期1Q	22.2期1Q	増減	前年同期比
10	受取利息	6	6	±0	100.0%
11	為替差損益	860	515	+345	167.0%
12	助成金収入	84	282	▲ 198	29.8%
13	支払利息	▲ 52	▲ 107	+55	48.6%
14	持分法による投資損失	▲ 15	▲ 25	+10	60.0%
15	売場什器等除却損	▲ 34	▲ 18	▲ 16	188.9%
16	その他営業外損益	▲ 216	176	▲ 392	-
17	営業外損益	633	829	▲ 196	76.4%

（百万円）

	特別損益	23.2期1Q	22.2期1Q	増減	前年同期比
18	固定資産売却益	-	4,818	▲ 4,818	-
19	投資有価証券売却益	-	63	▲ 63	-
20	関係会社株式売却益	1,317	2,944	▲ 1,627	44.7%
21	臨時休業等による損失	-	▲ 779	+779	-
22	関係会社株式売却損	-	▲ 2,027	+2,027	-
23	関係会社整理損		▲ 1,968	+1,968	-
24	減損損失	▲ 458	▲ 155	▲ 303	295.5%
25	その他	24	▲ 1	+25	-
26	特別損益	883	2,895	▲ 2,012	30.5%

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

DATA BOOK　オンワード樫山+HD・国内・海外小計

ONWARD

（百万円）

オンワード樫山+HD

		1Q実績				上期予想（2022.4.7公表値）			
		23.2期	22.2期	増減	前年同期比	23.2期	22.2期	増減	前年同期比
1	売上高	26,135	22,704	+3,431	115.1%	41,300	41,392	▲ 92	99.8%
2	売上総利益	15,815	13,244	+2,571	119.4%	23,800	22,855	+945	104.1%
	（売上比）	60.5%	58.3%	+2.2%		57.6%	55.2%	+2.4%	
3	販管費	14,063	13,047	+1,016	107.8%	25,755	26,093	▲ 338	98.7%
	（売上比）	53.8%	57.5%	▲ 3.7%		62.4%	63.0%	▲ 0.6%	
4	**営業利益**	**1,752**	**197**	**+1,555**	**889.3%**	**▲ 1,955**	**▲ 3,238**	**+1,283**	**-**
	（売上比）	6.7%	0.9%	+5.8%		-	-	-	

国内グループ小計

（オンワード樫山・HD除く）

5	売上高	17,116	17,202	▲ 86	99.5%	32,889	32,351	+538	101.7%
6	売上総利益	8,346	8,439	▲ 93	98.9%	16,371	16,188	+183	101.1%
	（売上比）	48.8%	49.1%	▲ 0.3%		49.8%	50.0%	▲ 0.2%	
7	販管費	7,217	7,379	▲ 162	97.8%	14,774	15,090	▲ 316	97.9%
	（売上比）	42.2%	42.9%	▲ 0.7%		44.9%	46.6%	▲ 1.7%	
8	**営業利益**	**1,129**	**1,060**	**+69**	**106.5%**	**1,597**	**1,098**	**+499**	**145.4%**
	（売上比）	6.6%	6.2%	+0.4%		4.9%	3.4%	+1.5%	

※単純合算（オンワード樫山・HDを除く国内グループ会社）

海外グループ小計

9	売上高	3,732	8,643	▲ 4,911	43.2%	7,202	11,480	▲ 4,278	62.7%
10	売上総利益	1,437	3,352	▲ 1,915	42.9%	3,138	4,384	▲ 1,246	71.6%
	（売上比）	38.5%	38.8%	▲ 0.3%		43.6%	38.2%	+5.4%	
11	販管費	2,050	3,339	▲ 1,289	61.4%	4,169	5,052	▲ 883	82.5%
	（売上比）	54.9%	38.6%	+16.3%		57.9%	44.0%	+13.9%	
12	**営業利益**	**▲ 613**	**13**	**▲ 626**	**-**	**▲ 1,031**	**▲ 668**	**▲ 363**	**-**
	（売上比）	-	0.2%	-		-	-	-	

※単純合算

©Copyright ONWARD HOLDINGS CO.,LTD.

ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。